



第380号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311

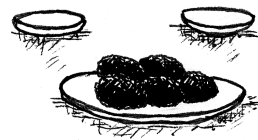


慶ぶお盆

子供たちの夏休みも終わりに近づき、虫の音が日増しに高くなっています。皆様、夏の終わりを如何お過ごしでしょうか。

新型コロナウイルスの感染拡大で史上初の1年延期となった第32回オリンピック東京大会は7月23日午後8時から、国立競技場で無観客の開会式が行われました。東京都にコロナの緊急事態宣言が出ているなかでの開催は、東日本大地震からの「復興五輪」の理念が薄れ、祝祭感が盛り上がらなかったのは本当に残念でした。しかし、世界から集まってきた超一流の選手達が技を競い合って、日本の猛暑の夏なかで熱い戦いをし、8月8日に17日間の大会の幕を無事に閉じたのはホッとしました。大部分が無観客の試合でしたが、日本の選手達も頑張り、金メダルを過去最多の27個も獲得したのは見事でした。

東京五輪の期間中は酷暑が続く、オリンピック選手達も可哀想でしたが、8月8日から日本近海に台風9号・10号が近づき低気圧や前線が2週間近く停滞し、線状降水帯となって各地で土砂崩れを起こし、佐賀県武雄市では二年前と同じ場所で川が氾濫し、家屋が浸水の被害を受け悲しい限りです。新型コロナウイルスの変異株であるデルタ株が日本中にコロナの第五波として蔓延中でもあり、避難も不安なことです。



カット：本多紘子

新型コロナウイルスの感染流行から1年8ヶ月経ちますが、今年の2月頃から医療従事者へ、5月頃から高齢者へのワクチン接種が2回行われ、8月までに国民の4割以上が2回接種したのに、コロナ変異株の出現によって流行が治まらないのは、働き盛りの人や若者が人と人の交流なしには生活が出来ず、出歩き、食事会をするからでしょう。ワクチン接種を希望する人には、1日でも早く接種出来るよう祈ります。愚僧は7月の初めに2回目のワクチン接種をしており、7月30日から各家庭へのお盆参りを予定していましたが、コロナ感染を心配してお参りを中止して欲しいと少数の檀家から電話があり、少しシヨックでしたが、後から御布施を送って下さり、お寺のお盆の合同法要の時に名前を読み上げ読経させていただきました。8月7日までは酷暑でしたが、8月8日から8月15日までは曇りや大雨で、愚僧は長いことお盆参りをしていますが、こんな雨の続くお盆は初めてです。地球温暖化の影響と言われますが、人間の便利さへの追求の結果ですね。

中国の唐の時代に活躍した善導大師の『般舟讚』に「慶ばしいかな人身をえて要法を聞く、頓やかに他郷を捨てて、本国に帰らん。父子相見ること常の喜びに非ず」とありますが、「慶ぶべきこととは人間の身に生まれたことを得て仏教の要を聞く。すみやかに煩惱の迷いの世界を離れ、さどりの世界である真実の世界に帰ろう。阿弥陀仏とはまごころであり、私たちの真実の父に喩えられる。私たちは仏の子に喩えられ、真実の故郷である仏の世界を父として、親子が再び相まみえることは無上の喜び」だと書かれています。

人にはそれぞれの人生があります。同じ顔の人がいないように、同じ人生を生きる人はいません。賢い人もいれば、頭の悪い人もいます。美人や美男子もいれば、不美人や醜男もいます。どんな人にも、人生にはそれぞれの苦難が押し寄せます。人に賞められる時もあるれば、貶される時もあり、みんな自分なりに精一杯です。すべての人に、真実の親として包み込む慈悲の心を仏様と呼ぶのです。合掌（奥原 曇龍）

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

『人間は生きても生きても悔い残す 仏の世界は心安らか』 どんりゅう



カット：奥原 綾

ともしび説法

日時・九月 七日「火曜日」 午前十時から昼十二時まで。

仏教講話『歎異抄（たんにしょう）から学ぶ』

場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方

[心光寺](#) [倉敷](#) [検索](#)



お釈迦様ものがたり 59

お釈迦様が35歳でさとりを開かれた後に、自分がさとした教えを理解しようする者があるであろうかと悩まれた事もありましたが、インドの強国であったマガダ国でたくさん弟子をつくり、仏教教団が拡大していきます。

お釈迦様は、インドで何の社会的・文化的根拠もないところで教えを説いたわけではなかった。当時、死後に天界へ再生することを願う生天信仰や、あらゆる生命は生まれ変わりに死に変わりを繰り返すという輪廻思想がすでに存在しており、それらを前提として順序だてて教えを説いたのです。

例えばシンガラカという人が、父の遺言によつて東西南北上下という六つの方向を礼拝していました。托鉢でそこを通りかかったお釈迦様は、その礼拝行為を迷信として否定せずに、礼拝にかこつけて生活の指針を語りました。「四つの悪行」、「六つの財産を失う行為」、「四種の偽の友」、「四種の良き友」を説明した上で、東方を父母、南方を師、西方を妻子、北方を朋友、下方を奴隷や使用人、上方を行行者や祭官になぞらえ、これらの人々との倫理的関係を説かれています。

「四つの悪行」とは、生き物を殺す事、盗み、虚言、配偶者以外との性行為です。「六つの財産を失う行為」とは、飲酒、夜歩き、見世物、賭博、悪友との交際、怠惰です。お釈迦様はこれらから離れる事を説きます。

「四種の偽の友」とは、ものを与えずに取る一方の者、言葉だけを大事にする者、相手の面前では賞めながら陰では非難する者、何でもかでも同意する者です。「四種の良き友」とは、助けてくれる者、苦楽を共にする者、悪を防止し善に入らせる者、天界に再生する道を教える者や憐れみのある者です。

お釈迦様は相手が信じている事を生かしつつ、そこに倫理的な意味を盛り込み、聞き手に合わせ仏教を説きました。合掌(奥原曇龍)

彼岸花真っ赤に染まる寺の庭 ともしびゆらゆら先祖を偲ぶ 田辺多恵子



8月13・14日 心光寺でお盆の合同法要

ともしび法話

9月は秋のお彼岸月。今年のお盆は梅雨のように前線が停滞し、雨が降り続き驚きました。皆様、如何お過ごしでしょうか。佐賀県武雄市では二年前と同じ、川が氾濫し、住宅が浸水しました。忠心よりお見舞い申し上げます。
心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

8月6日 ヒロシマ ピカドン 父親はかたづけに呼び出されました。あまりのむごさ 多くを話してくれませんでした。「くる年も くる年も 同じ事を思う 戦争は なんともむごいこと」
総社市中原 上田 高美

広がり続ける新型コロナと連日の猛暑に今生かされている事の尊さをひしひしと感じています。曇龍先生の『袖触り合うも他生の縁』では、深い深い世界を教えて頂きました。万物に宿る命に感謝したいです。
倉敷市水江 貞安 節子

9月23日(秋分の日)、心光寺本堂で秋のお彼岸合同法要が午前9時半から30分間「お経と法話」。是非、お参り下さい。

ともしび説法

日時・九月 七日「火曜日」 午前十時から昼十二時まで。
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り
(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

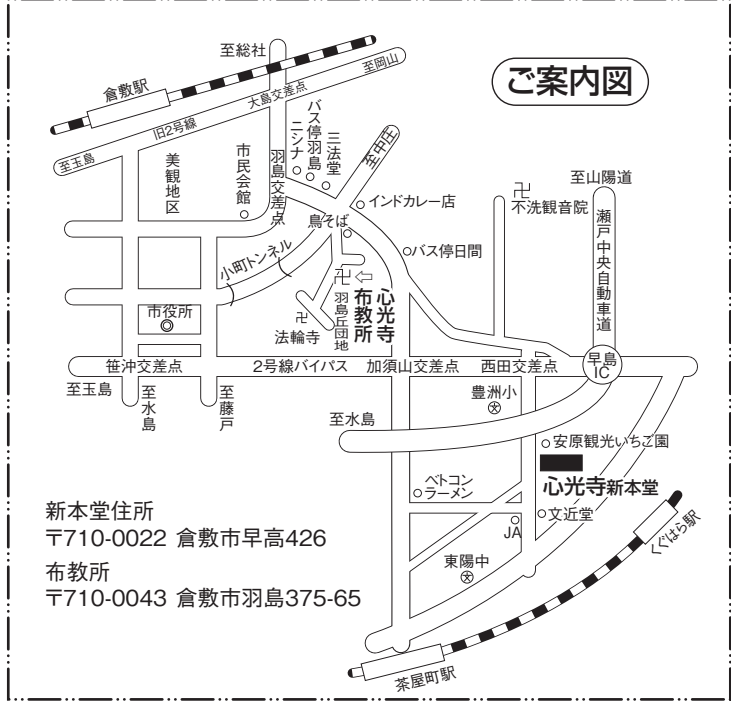
○ともしび説法・お寺の行事予定
十月 十一日(月)・午後一時半から午後四時・早高の本堂。
十一月 三日(水)・午後一時から午後四時頃・早高の本堂。
秋の法要・報恩講義式と仏教講演

☆『ともしび』を平成24〜26年、平成27〜29年、平成30〜令和2年と三年ごとにまとめて本としました。毎月1回のお寺の新聞が本となって、過去の忘れていたニュースを思い出し、人生をふり返れますよ。まとめた本が欲しい方は実費でお分け致します。



いころの詩

残暑きびしい9月だよ
楽にはまだ過ぎせない季節だが
凜として誠実に生きたいな
ルンルン気分の若者のように
礼節を失なうことなく
浪々とさまよい続けたい
人生はいつも 今 今を大切に



カット:吉岡美枝

〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「380号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅西口に9時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は、心光寺まで、ご連絡下さい。合掌 心光寺 総代長 本家豊彦

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。